

# 猪苗代湖水生植物資源化検討に向けた資源等把握のためのヨシ刈り業務委託 仕様書

## 1 目的

猪苗代湖湖岸に繁茂する水生植物の資源化に向けて、その種類や量を把握し、水質・景観・生育動植物に配慮した資源循環とするための利用条件を検討する目的で試験的なヨシ刈りを行う。

この仕様書は、福島県（以下「発注者」という。）が受注者に委託する猪苗代湖水生植物資源化検討に向けた資源等把握のためのヨシ刈り業務を円滑かつ効率的に運営するため、必要な事項を定めることを目的とする。

## 2 委託業務の内容

委託業務の内容は、次の(1)～(5)のとおりとする。

なお、ヨシを結束する縄玉（経9ミリ程度のもの）、肩掛け式の草刈り機や農耕用運搬機や不整地運搬機など、業務に必要な消耗品及び機材等はあらかじめ受注者において準備すること。

### (1) ヨシの刈取場所及び刈取面積

猪苗代町大字三和字前田地内におけるヨシ原の一部（図に示す約0.4ha）とする。

なお、刈取場所及び仮置場所の詳細については発注者と協議すること。

### (2) ヨシの刈取方法等

ア ヨシは肩掛け式の草刈り機・草刈り鎌により刈取る（重機は使用してはならない。）。

イ 刈取ったヨシの一部は、製紙原料等として再生利用するため、穂先及び根元を切り落とし、長さ2m程度に切りそろえ、縄で束ねる。再生利用量については別途協議し決定する。

ウ 再利用しないその他のヨシは、長さ60cm程度に切断し、縄で束ねる（会津若松地方広域市町村圏整備組合では、あらかじめ60cm程度に切断しないと受入しないため。）。

エ 作業で発生したヨシ屑は回収し、適切に処分する。

オ 当該作業を行うにあたり河川法、自然公園法、福島県猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例等に関する申請等手続きは発注者が行うこととする。

なお、受注者は刈取りを行う前に、実施日や注意事項等について発注者と十分協議した上で実施するとともに、各種法令で保護の対象となる木竹等に目印を事前に付ける等、誤って伐採しないよう留意すること（他の樹木等の伐採及び枝払い等は行わないこと。）。

### (3) ヨシの生育量等の把握

刈取ったヨシについて10本以上の長さを計測すること。また、施工範囲内において、1m×1mの範囲に区切り、当該範囲内のヨシを刈取り、刈取った本数を計数すること（10か所以上）。



(4) 刈取ったヨシの運搬

刈取ったヨシは、手作業、若しくは農耕用運搬機や不整地運搬車等によりヨシ原から図に示す仮置場所へ運搬する。

なお、刈取ったヨシを仮置きする前に、仮置場所の下草の刈払い等を行っておくこと。

(5) 刈取ったヨシの処理

ア 再利用するヨシは、発注者が指定する期日まで仮置き場に保管する。

イ 期日を過ぎても残ったその他のヨシは、会津若松地方広域市町村圏整備組合（会津若松市神指町大字南四合字深川西 292-2）に運搬し、関係法令に基づき適正に処理する（会津若松地方広域市町村圏整備組合に搬入する量は1日当たり最大でも1.5トンとすること。）。

ウ 全てのヨシの搬出作業が完了した後は、仮置場所等のヨシ屑を回収する。



図 ヨシ刈取場所及び刈り取ったヨシの仮置場所

3 提出書類

受注者は次に掲げる書類のほか、発注者が必要と認める書類を発注者の指定する日までに提出しなければならない。

(1) 従事する者の「刈払機作業安全衛生教育修了証」の写し

なお、修了証を有していない場合は、ヨシ刈作業着手前に、速やかに林業・木材製造



業労災防止協会福島県支部等が実施している「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育」を受講し、修了証の写しを提出すること。

なお、受講料は受注者の負担とする。

- (2) 2(4) 刈取ったヨシの運搬作業にて、不整地運搬車を利用する場合、従事する者の「不整地運搬車運転者技能講習修了証」の写し
- (3) 委託業務着手報告書（様式任意）
- (4) 主任技術者設置報告書（様式任意）

#### 4 成果品

受注者は、次の(1)～(4)に定める書類を発注者の指定する日までに提出しなければならない。

- (1) 委託業務の実績（作業期間）を明記した書類（作業日報と会津若松地方広域市町村圏整備組合への搬入伝票の写し等）
- (2) 作業場所における作業着手前、作業状況及び作業完了後を示す写真
- (3) 刈り取ったヨシの長さ及び1m×1mの範囲におけるヨシの本数の計測結果。
- (4) 委託業務完了報告書（様式任意）

#### 5 その他

- (1) 本仕様書に記載されていない事項であっても、業務遂行にあたり必要な事項については、受注者の責任のもとで充足すること。
- (2) 本業務を遂行するにあたり必要な消耗品及び機材等は受注者の負担において準備すること。
- (3) 本仕様書に定めのない事項及び記載内容に疑義が生じた場合には、その都度、発注者と受注者が協議して定めるものとする。